



令和 2 年 12 月 18 日

本学の提案が科学技術振興機構の「令和 2 年度・共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」に採択

科学技術振興機構（JST）の支援施策である「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」の選考結果が 12 月 15 日に発表され、広島大学が代表機関となり提案を行った「広島から世界最先端のバイオエコノミー社会を実現する Bio×Digital Transformation（バイオ DX）産学共創拠点」（プロジェクトリーダー：山本卓 ゲノム編集イノベーションセンター長・教授）が採択されました。

「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」は、大学などを中核とする産学連携を基軸に自治体、市民など多様なステークホルダーを巻き込んだ産学共創により、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に基づく未来のあるべき社会像（拠点ビジョン）を策定し、「拠点ビジョン実現のためのバックキャスト型研究開発」とそれを支える「持続的な運営が可能な産学共創システムの構築」をパッケージで推進するプログラムです。

今年度が初公募の施策であり、本学が提案を行った「育成型」では、全国で 67 件の申請があり、本提案を含め 12 件が採択されました。

<https://www.jst.go.jp/pr/info/info1475/index.html>

本学の提案では、SDGs における持続的成長と社会課題の解決に向けて、生物が持つ全ての遺伝情報を解読・解析する“生物のデジタル化”とゲノム編集・合成による“生物のプログラミング”を組合せた、「Bio×Digital Transformation（バイオ DX）」をキーワードに、データ駆動型ゲノム育種（デジタル育種）やゲノム編集の安全性評価技術の研究開発を進めます。

また、多様なステークホルダーとの共創のもと、地域イノベーション力の徹底強化を図り、本学を中心に「バイオ DX」産学共創拠点を構築し、広島から世界最先端のバイオエコノミー社会を実現することを目指します。

（解決を目指す SDGs）

- SDG2 飢餓をゼロに
- SDG3 すべての人に健康と福祉を
- SDG7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- SDG8 働きがいも経済成長も
- SDG9 産業と技術革新の基盤をつくろう

【お問い合わせ先】

広島大学 学術・社会連携室

Tel : 082-424-4307

E-mail : sangaku-renkei@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数 : A4版 1枚（本票含む）